

研究会開催通知

(昭和56年2月15日～3月31日)

研究会	日	時	会場	備考
電子装置設計技術	2月17日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	前号参照
計算機アーキテクチャ	2月17日(火) 2月18日(水)	13:30～17:00 9:00～14:00	広島大	同上
分散処理システム	2月19日(木)	14:00～17:00	第32森ビル	同上
マイクロコンピュータ	3月2日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	下記参照
医療情報学	3月6日(金)	13:00～17:00	中央鉄道病院	同上
計算機システムの解析と制御	3月12日(木)	13:30～17:00	第32森ビル	同上
データベース管理システム	3月19日(木)	14:00～16:30	機械振興会館	同上
人工知能と対話技法	3月20日(金)	9:30～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	3月23日(月)	13:30～17:00	東大	同上
記号処理	3月27日(金)	10:00～16:00	武蔵野通研	同上

◆ 第8回 分散処理システム研究会

*情報処理1月号 (Vol. 22 No. 1) に会告いたしました標記研究会の開催日に誤りがありましたので、下記の通り訂正しお詫びいたします。

日 時 昭和56年2月19日(木)

◆ 第15回 マイクロコンピュータ研究会

(主査: 森 亮一, 代表幹事: 田島守彦)

日 時 昭和56年3月2日(月) 午後1時半～5時

会 場 機械振興会館 地下3階1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 都営三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

議 題

(1) ある囲碁練習材のデータ構造とその記述言語

佐々木彬夫(フリー), 谷 信幸(熊本県大矢野中学校)

富田真次, 塚村善弘(ソニー), 多田碩佳, 松沢 孝(ネオログ電子)

[概要] 標準手順練習用の囲碁練習材を試作し, 手順の枝分れの処理と, 任意の隅と向きでの練習の処理に成功したので概要を報告する。

(2) マイクロコンピュータのリハビリテーション機器への応用(環境制御装置の試作)

奥 英久(兵庫県リハビリテーションセンター)

[概要] マイクロコンピュータを主たるコントローラとした, 重度身体障害者のための多機能な生活補助装置の紹介。

(3) 日本語ワードプロセッサの試作

大島義光, 中山 剛, 藤方健二, 中島 晃, 黒須正明, 桂城正彦 (日立・中研), 武市宣之 (日立・システム開発研), 江尻正員 (HISL)

〔概要〕 対話型かな漢字変換・記憶コード ハイブリッド方式による日本語入力方式を用いた日本語ワードプロセッサについて述べる。

◆ 第 9 回 医療情報学研究会

(主査: 大島正光, 代表幹事: 稲田 紘, 溝口文雄, 開原成允)

日 時 昭和 56 年 3 月 6 日 (金) 午後 1 時～5 時

会 場 中央鉄道病院会議室

[東京都渋谷区代々木 2-1-3, 国鉄: 新宿駅南口下車, 徒歩 5 分.]

Tel. 03 (379) 1111]

議 題 耳鼻咽喉科および関連領域におけるマイクロコンピュータ処理の応用

(1) 聴性誘発反応に対するマイコンの応用

内田利男, 江原義雄, 市川銀一郎 (順天堂大・耳鼻科)

〔概要〕 頭頂, 耳後部誘導にて得られた聴性誘発反応を, signal processor 7708, H 68 TR を使用してデータ処理を行った。

(2) マイコンによるオーディオグラムの格納と検索の試み

宮下善和, 坂部長正, 山岸美寿恵 (中央鉄道病院・耳鼻科)

〔概要〕 難聴の診断に最も重要な標準純音聴力検査の周波数別聴力損失値のデータをフロッピディスクに入力し, オーディオグラムパターンの解析などの各種の検索を実行させた。

(3) 突発性難聴患者のデータ整理 井上秀朗, 荒井和夫 (慈恵医大・耳鼻科)

〔概要〕 突発性難聴症例の各種データを, フロッピディスクに収納し, データベースとしての利用を試みた。

(4) マイコンによるアナログ情報処理の試み (眼運動解析を中心に)

渡辺行雄, 大橋直樹, 武田精一 (富山医薬大・耳鼻科)

〔概要〕 眼運動分析に対するマイコンの実用性とその限界について検討を加えた。

(5) 喉頭筋の強さ時間曲線の自動測定

金苗修一郎, 笠 誠一, 広戸幾一郎, 井之口昭, 渡辺 宏,
小宮山莊太郎 (九大・医)

〔概要〕 声帯麻痺の病態の把握, 予後判定のために, 内喉頭筋の強さ時間曲線を短時間で正確に測定する方法を開発した。

(6) 音響指標による喉頭疾患のスクリーニング

今泉 敏, 小池靖夫 (近畿大・医)

〔概要〕 喉頭疾患にともなう音声の変化を, 音響分析的に評価することによって, 喉頭疾患のスクリーニングを行う。

(7) 言語指導用装助装置としてのマイコンの活用

山岸美寿恵, 宮下善和, 坂部長正 (中央鉄道病院・耳鼻科)

〔概要〕 言語指導上患者の理解を促すためと表出を導き出すために絵を用いるこ

とが多く、提示絵の入力、保存、提示の補助装置としてマイコンの活用を試みた。

- (8) マイコンによる異聴表の数理処理 丹 直利 (東京学芸大)
〔概要〕 難聴児の語音聴取能力を、その異聴傾向から数量的に求めた研究。異聴表の高次処理による潜在的聴覚の推測。
- (9) 失語症のCT像より求めた脳の言語領域
戸塚元吉 (虎ノ門病院・耳鼻科), 船井洋光 (東大分院・耳鼻科)
〔概要〕 脳の部分的損傷によっておきた失語症患者 69 名の頭部CT像とその言語検査成績から言語機能に必要な脳の領域を求めた。
- (10) 耳鼻咽喉科および関連領域におけるマイクロコンピュータ処理の応用
大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理 (富山医薬大・耳鼻科)
武田精一 (富山医薬大・研究協力課)
〔概要〕 日常外来で行われている入院予約、入院決定に関する事項の処理をマイクロコンピュータで行った。
- (11) 歯科疾患のデータ表示 松平文朗 (中央鉄道病院・歯科)
〔概要〕 歯科領域での罹患度の高い歯周疾患データの整理、分析および所見からの検索リストの作成を試みた。
- (12) 診断論理、症例検索へのマイクロコンピュータの利用
土肥一郎 (中央鉄道病院・神経内科)
〔概要〕 多種の所見の有無の組合せから病名を決め、脳CT台帳からある所見を有する者のリストを作るプログラムの解説。
* 同日、午前10時半より中央鉄道病院情報処理システム(TRACHIS)の見学会を行います。御希望の方は午前10時半までに中央鉄道病院A棟(新病棟)1階ロビーにお集り下さい。

◆ 第12回 計算機システムの解析と制御研究会

(主査: 高橋延匡, 代表幹事: 亀田壽夫, 益田隆司)

- 日 時 昭和 56 年 3 月 12 日 (木) 午後 1 時半～5 時
会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室
〔東京都港区芝公園 3-4, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 都営三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, 機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分, 東京タワー向い, Tel. 03 (591) 1351 (大代表)〕
- 議 題 (1) 非割込み優去処理のある網型待ち行列の近似解析
池原 悟, 宮崎正弘 (横須賀通研)
〔概要〕 非割込み型優去処理の行われるサービスステーションをもったクローズドタイプの網型待ち行列に対する漸近近似解法を提案する。
- (2) 運用環境における TSS 計算機システムの性能測定
田畑孝一, 藤井康雄, 黒嶋 博, 清水智恵子 (京大・情報処理教育センター)
〔概要〕 60 数台の TSS 端末をもつ本センターの運用サービス中における性能測定の方法と実測結果を示す。

- (3) 筑波大学学術情報処理センタにおける利用者特性について
坂口 瑛, 小川靖彦, 鶴岡和昭, 中山和彦 (筑波大・学術情報処理センタ), 中村奉夫 (筑波大・電子・情報工学)
〔概要〕 筑波大学における, 事務・研究・教育用情報処理の為の計算機利用の特徴・特性について調べたのでこれを報告する.

◆ 第24回 データベース管理システム研究会

(主査: 穂鷹良介, 代表幹事: 植村俊亮)

- 日時 昭和56年3月19日(木)午後2時~4時半
会場 機械振興会館 地下3階1号室 (所在地は前記参照)
議題 (1) 大型 DB/DC システム移行事例
藤田重裕 (大同特殊鋼), 鶴 輝雄, 浅野俱彦 (日電)
〔概要〕 大同特殊鋼(株)における DB 移行について, 特に固有 DB から汎用 DB(ADBS) への変換を中心に述べる.
(2) 仮想化技法としてのデータベースビューについて
増永良文 (東北大・通研)
〔概要〕 データベースビューとはデータベースおよびその操作言語を仮想化する基本概念であると捉え, スキーム変換型, DML 変換型, データモデル変換型, 抽象化型, 知識型, および時変型ビューの概念を提起し, 各々説明する.

◆ 第20回 人工知能と対話技法研究会

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 田村進一)

- 日時 昭和56年3月20日(金)午前9時半~午後5時
会場 機械振興会館 地下3階1号室 (所在地は前記参照)
議題 (1) 自然言語処理と知識表現 辻井潤一 (京大・工)
〔概要〕 自然言語処理の大規模実現のための文法規則・辞書等の系統的開発手法として, 知識工学で開発されてきた各種の手法の適用可能性について考察する.
(2) 知識工学の医学への応用 開原成允 (東大・医)
〔概要〕 医学コンサルテーションシステムの具えるべき条件と, それを計算機上を実現する様々な手法を実例に基づいて概説する.
(3) 知識工学研究の現状 諏訪 基 (電総研)
〔概要〕 アメリカにおける知識工学の研究を中心にその内容と研究体制を紹介する.
(4) 知識工学用マシンの可能性 淵 一博 (電総研)
〔概要〕 知識工学の立場から, 新しい言語とマシン・アーキテクチャの可能性を考察してみたい.
(5) 知識ベース・システム KAVS—目標・知識表現と推論・再考
大須賀節雄 (東大・宇航研)

〔概要〕 汎用目的の知識ベースシステム KAVS の実用化の条件, 実現の方式, 実験的システムの反省等について述べる.

(6) 物語理解のための知識表現について 小川 均 (阪大・基礎工)

〔概要〕 物語理解に必要な事象間の関係や常識の表現法およびそれらを用いた推論メカニズムについて述べる

◆ 第11回 コンピュータビジョン研究会

(主査: 福村晃夫, 代表幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

日 時 昭和56年3月23日(月) 午後1時半~5時

会 場 東京大学生産技術研究所 第3部輪講室

〔東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄: 千代田線乃木坂下車2~3分, 日比谷線六本木下車8~10分, Tel. 03 (402) 6231〕

議 題 (1) イメージ処理機能を有する文書管理システム

田畑邦晃, 津原 進, 岩見秀文, 町田哲夫, 竹内洋一, 武藤光子 (日立・システム開発研), 柴田洋二 (日立・戸塚工場)

〔概要〕 大容量イメージファイルやファクシミリを用い, 文書情報の保管・検索・編集・伝送が可能な新しい文書管理システムを開発した. 今回は, システムの基本機能とイメージ処理技術(とくに, 手書文字等のイメージ処理を応用した新しい検索手法)を中心に報告する.

(2) 三面世界における運動の解釈

浅田 稔, 谷内田正彦, 辻 三郎 (阪大・基礎工)

〔概要〕 三面世界(積み木)を写した線画列から, 剛体性を利用してその運動の解釈を試みる.

(3) 反復画像演算による重なり合った棒状パターンの解釈

坂上勝彦, 高木幹雄 (東大・生研)

〔概要〕 互いに重なり合った棒状パターンを数多く含む画像から, 各々の棒長を求め問題に対して, 繰返し演算による測定法と実験例を報告する.

(4) 第5回パターン認識国際会議参加報告

鳥脇純一郎 (豊橋技科大), 高木幹雄 (東大・生研), 北橋忠宏 (豊橋技科大), 出沢正徳 (理研), 松山隆司 (京大・工)

〔概要〕 昨年12月1~4日, 米国フロリダ州マイアミビーチで 5th International Conference on Pattern Recognition が開催された. この会議報告をもとに, パネル討論形式でパターン認識研究の動向と将来を展望する.

◆ 第16回 記号処理研究会

(主査: 淵 一博, 代表幹事: 竹内郁雄, 佐々木建昭, 田中穂積)

日 時 昭和56年3月27日(金) 午前10時~午後4時

会 場 電電公社武蔵野電気通信研究所 6号館302A

〔東京都武蔵野市緑町 3-9-11, 国鉄: 中央線三鷹駅北口下車, 関東バス: 北裏行

議 題

武蔵野市役所前下車，徒歩5分，Tel. 0422 (59) 3083]

(1) 演繹機能を有したデータベースの一構成法 奥及 博(武蔵野通研)

〔概要〕 論理型言語 DURAL (PROLOG) を拡張し，演繹機能を有したデータベースを作成したので，その構成法について報告する。

(2) Search engine と sort engine の記号処理への応用

田中 譲(北大・工)

〔概要〕 Search engine と sort engine の単体としての応用について述べ，また試作システムのデモンストレーションを行う。

(3) Hyperlisp とその implementation 萩谷昌己，佐藤雅彦(東大・理)

〔概要〕 領域方程式 $s = s \times s + s \times s$ を満たす新しい s 式の領域 s について述べ，またその上の Lisp 型言語 Hyperlisp の設計及び実現について述べる。

(4) HLisp コンパイラの最適化技法について

寺島元章(電通大・計算機学科)

〔概要〕 Lisp プログラムを仮想計算機の間言言語に翻訳する場合に使用した最適化技法とその問題点について述べる。

(5) ある LISP システムの高速化への一試み 難波憲司(ソニー)

〔概要〕 数式処理系 REDUCE をのせている Utah 大学の Standard LISP (IBM 360 and 370) のデバック，およびコンパイラインタフェース，スタック操作等の変更による1.3~1.6倍の高速化について報告し，あわせて，LISP の拡張について提案する。

昭和56年度会費納入について

昭和56年度会費は55年度と同じで，据置きになっておりますので，添付の振替用紙によりご納入ください。

正会員費 7,200円

学生会員費 3,000円(大学院修士課程まで)

申すまでもありませんが，会費は前納を建て前としておりますので，率先してご納入いただきたく存じます。

なお，55年度会費未納の方には，3月号から会誌の送付をストップいたしますので充分ご注意ください。

昭和 56 年度役員選挙について

本会定款第 20 条にもとづき、来る 5 月 20 日開催の第 22 回通常総会をもって本会役員の半数が退任されます。昭和 56 年度の役員選挙を 2 月中旬別途送付する投票用紙（往復ハガキ）により行います。正会員各位は下記の要領により、もれなく同投票用紙にて投票をお願いします。

投票用紙記載の候補者は、投票者の参考にと供するために本会理事会が推薦したものです。この候補者の中から選定される場合は、別掲の候補者名簿をご参照のうえ、「選定欄」に○印を付け、またこの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名・所属を記入のうえ、ご投票ください。

記

1. 別送の投票用紙（返信ハガキ）の選定欄に○印をおつけください。
2. 会長、副会長は各 1 名の単記、理事は、教育関係、研究関係は各 1 名の単記、製造・販売関係、利用関係は各 2 名以内の連記、監事は 1 名の単記とし、これをこえた場合には無効といたします。
3. 改選定数は会長 1 名、副会長 1 名、理事 8 名、監事 1 名です。
ただし、理事 8 名の選定は、まず各関係分野別の得票順に従い、教育、研究関係各 1 名と製造・販売、利用関係各 2 名を選出し（合計 6 名）、残りの 2 名については、関係分野にとられることなく全分野を通じて高得票順に選出いたします。
4. 投票の締切は、昭和 56 年 3 月 10 日（火）の郵便消印があるものまでを有効といたします。
5. 投票用紙（ハガキ）は料金受取人払ですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は 50 音順です。

昭和 56 年 2 月

昭和 56 年度役員改選候補者名簿

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次	勤務先および役職名
会長	猪 瀬 博	東 大・昭23	東京大学工学部教授
副会長	中 込 雪 男 松 浦 隼 雄	東工大・昭24 東 大・昭17	国際電信電話(株)取締役 日本アイ・ビー・エム(株)常務取締役
理事 (教育)	池 野 信 一 高 島 堅 助 野 口 正 一 元 岡 達	東 大・昭24 東 大・昭25 東北大・昭29 東 大・昭27	電気通信大学計算機科学科教授 大阪大学基礎工学部教授 東北大学電気通信研究所教授 東京大学工学部教授
理事 (研究)	池 田 克 夫 石 井 治 大須賀 節 雄 戸 田 敬	京 大・昭35 慶 大・昭27 東 大・昭32 東 大・昭31	筑波大学電子情報工学系教授 電子技術総合研究所ソフトウェア部長 東京大学宇宙航空研究所助教授 横須賀電気通信研究所データ通信研究部長

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次	勤務先および役職名
理事 (製造・販売)	石井康雄	東大・昭29	(株)富士通研究所所長付
	石原孝一郎	東大・昭11	(株)日立製作所システム開発研究所第3部長
	杉浦宜紀	名大・昭29	沖電気工業(株)情報処理事業部システム本部長
	首藤勝	阪大・昭32	三菱電機(株)開発本部・計算機研究部長
	藤野喜一	早大・昭30	日本電気(株)基本ソフトウェア開発本部長
	山中和正	東大・昭29	東京芝浦電気(株)府中工場副工場長
理事 (利用)	石原善太郎	一橋大・昭16	(株)トパックス代表取締役社長
	井上晴雄	電通大・昭31	鉄道技術研究所情報システム研究室長
	上条史彦	東大・昭32	情報処理振興事業協会開発振興部長
	樽松明	早大・昭36	国際電信電話(株)研究所端末装置研究室長
	高見友一	東理大・昭30	日本放送協会経営情報室主査
	名和小太郎	東大・昭31	(株)旭リサーチセンター参事, 主席研究員
監事	浦昭二	東大・昭27	慶応義塾大学工学部教授
	関口茂	東大・昭22	日本電気(株)技術計算センタ長

(五十音順)

〔参考〕

昭和56年度留任役員名簿

役職名	氏名	勤務先
副会長	田中幸吉	阪大
理事	伊藤陽之助	武通
理事	井上幸美	三菱
理事	浦城恒雄	日立
理事	佐川俊一	国鉄
理事	瀬野健治	富士通
理事	長尾真	京大
理事	長谷川寿彦	日電
理事	宮城嘉男	日電
理事	和田英一	東大
監事	西村真一郎	JIPDEC

退任役員名簿

役職名	氏名	勤務先
会長	小林宏治	日電
副会長	高橋茂	筑波大
理事	飯村二郎	横通
理事	川崎淳	日立
理事	河野隆一	三菱
理事	平澤誠一	日電
理事	淵一博	日電
理事	山本欣子	情報
理事	澤田正方	国鉄
理事	三井信雄	I B M
監事	蔵田昭	紙流通センタ

情報処理学会第 22 回 (昭和 56 年前期) 全国大会参加について

一般参加の方へ

1. 総 受 付 学習院大学南 3 号館 (プログラム 29 ページ参照)
 - (1) 特別・招待講演 (中央教室)
 - (2) パネル討論・一般講演 (北 1 号館, 西 1, 4 号館, 南 3 号館)
2. 参 加 費 会 員 1,000 円 (賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます.)
非会員 2,000 円
3. 論 文 集 代 定 価 5,500 円 (予約価 4,500 円)
(当日, 予約者以外にお頒けできるのは, 残部のある場合に限りです.)
4. 論文集予約 予約 (3 月 2 日締切) を原則としますので, 前号 (1 月号) 綴込みの申込書をご利用ください。

◎参加される方は, 一般受付にて参加費を納め, 参加章を受けとってください。会期中は, 参加章を胸につけないと会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は, 講演の始まる前に, 必ず各セッション会場前の講演者受付で, 出席の確認を受けてください。
2. 講演者は, おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には, 座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は, 質疑を含めて, 15 分を原則とします。したがって時間内に十分に講演の主旨を伝えられるように, 事前の準備をお願いします。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 補助教具として, OHP が使えます。OHP に使う原図は説明の文字や線点はなるべく簡潔に書き, よく判読できるよう準備してください。なお, 掛図 (3 枚以内) は, 各自備付けのマグネットで黒板に止めてください。

その他の一般注意

1. 昼食は学生食堂が利用できます。また, レストルームが 2 カ所準備してあります。
2. 大学の代表電話では呼出しは禁止されていますので, 万止むを得ない場合のみ, 臨時電話を利用してください。(臨電の番号は次号にてお知らせします。)
3. 駐車場はありませんので, 自家用車による参加は厳禁します。